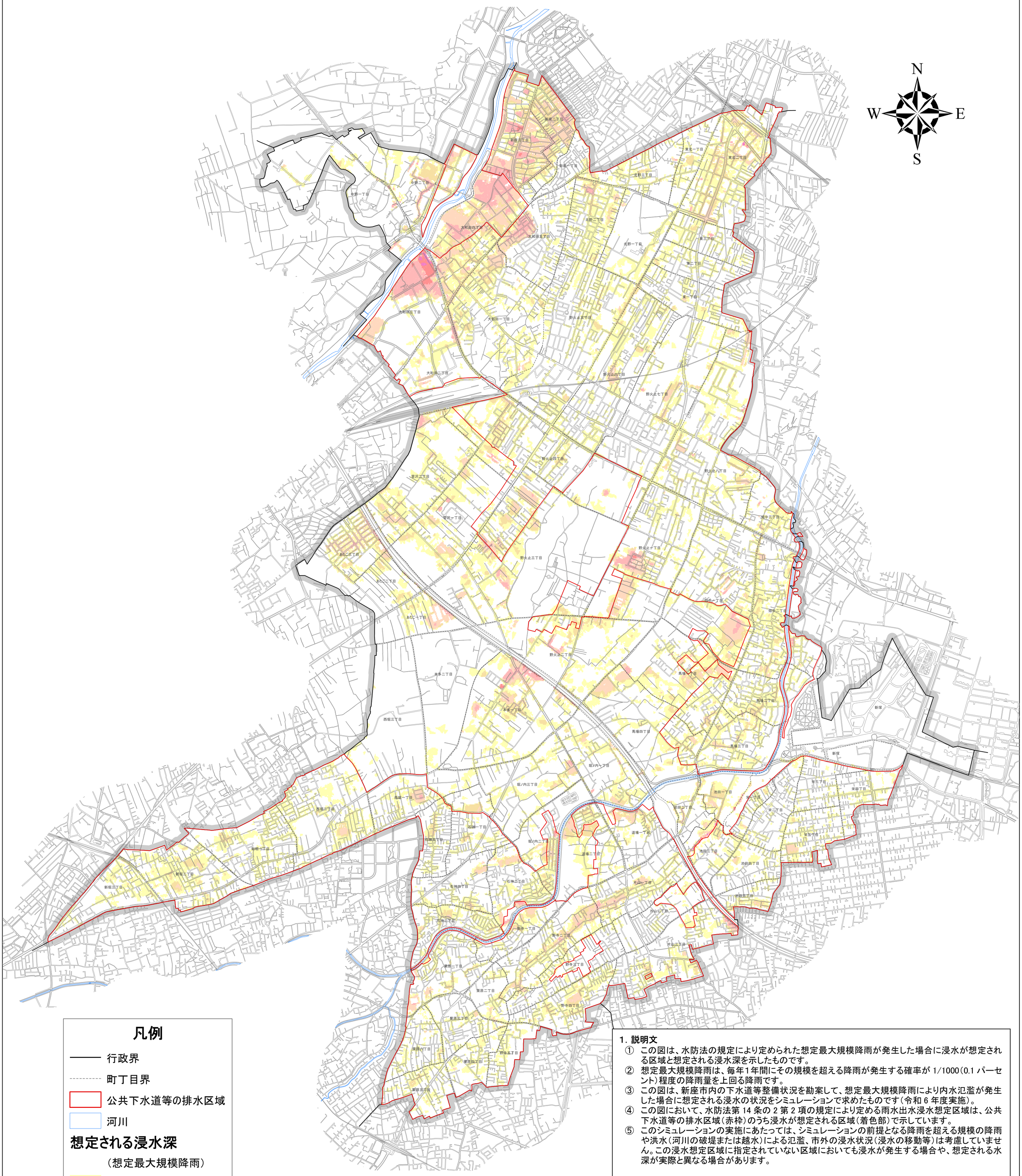
新座市　雨水出水浸水想定区域図（想定最大規模降雨）



凡例

- 行政界
- 町丁目界
- 公共下水道等の排水区域
- 河川

想定される浸水深

（想定最大規模降雨）

- 5cm － 30cm
- 30cm － 50cm
- 50cm － 1.0m
- 1.0m － 2.0m
- 2.0m － 3.0m
- 3.0m － 5.0m
- 5.0m以上

1:14,000

0　250　500　1,000　1,500　2,000 m

1. 説明文

① この図は、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨が発生した場合に浸水が想定される区域と想定される浸水深を示したものです。

② 想定最大規模降雨は、毎年1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が 1/1000（0.1 パーセント）程度の降雨量を上回る降雨です。

③ この図は、新座市内の下水道等整備状況を勘案して、想定最大規模降雨により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションで求めたものです（令和 6 年度実施）。

④ この図において、水防法第 14 条の 2 第 2 項の規定により定める雨水出水浸水想定区域は、公共下水道等の排水区域（赤枠）のうち浸水が想定される区域（着色部）で示しています。

⑤ このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨や洪水（河川の破堤または越水）による氾濫、市外の浸水状況（浸水の移動等）は考慮していません。この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。

2. 基本事項等

① 作成主体：新座市
② 指定年月日：令和 7 年 3 月 31 日
③ 告示番号：新座市告示第 94 号
④ 指定の根拠法令：水防法（昭和 24 年法律第 193 号）第 14 条の 2 第 2 項
⑤ 指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨（1 時間雨量 153mm、24 時間雨量 360mm、総雨量 390.5mm）
⑥ 浸水想定手法：浸水シミュレーション手法
［降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析を一連で実施］
⑦ 境界条件
・ 排水先河川の水位は想定される最高水位（堤防高相当）
・ 樋管は操作規則に基づく開度で固定
⑧ 浸水継続時間
・ 想定し得る最大規模の降雨により、長時間（概ね 24 時間以上）にわたり浸水（0.5m 以上）するおそれがある場合、水防法施行規則第 5 条第 3 項に基づき、浸水継続時間を明記する必要がありますが、シミュレーションの結果、新座市では長時間にわたる浸水が見られないため、浸水継続時間を表示していません。
⑨ その他計算条件等：
・ 新座市の地形データは内水浸水想定区域図作成マニュアル（案）に基づき、国土地理院基盤地図情報（測量年次 H21、H27、H29）の数値標高モデルを使用して、浸水深は 5m メッシュごとで表示しています。